

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：一般社団法人MIT



活動地域：長崎県対馬

活動におけるテーマ・キャッチコピー

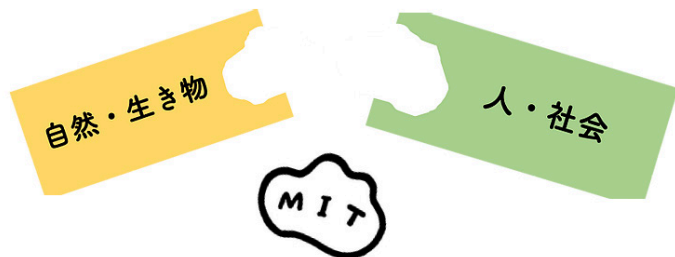
「暮らしの豊かさ向上と森林生態系保全」の実装
ヤマネコと共生する森づくりプラットフォーム事業

活動団体紹介



人と生き物のつながりをみつけ・いかし・つなぐ
生物多様性の高い島嶼地域である対馬を拠点に、
人と生き物のつながりをデザインする会社です。

【触媒役 MITによる化学反応（イメージ）】



自然・生き物と人・社会が分断されている状態



MITが関わることで、自然・生き物と人・社会に化学反応が起こり相互作用が起こり、自然共生型の持続可能な社会に資する多様な取組みが色々な形で展開されて、新たな価値が生まれる。

M みつける部門 Consulting section

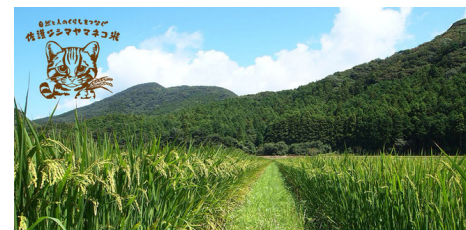
- ・ 行政施策支援
- ・ 人財発掘・育成支援
- ・ 各種調査業務

I いかす部門 Design section

- ・ 各種デザイン・イラスト
- ・ 広報・広告ツール作成
- ・ オリジナル商品開発

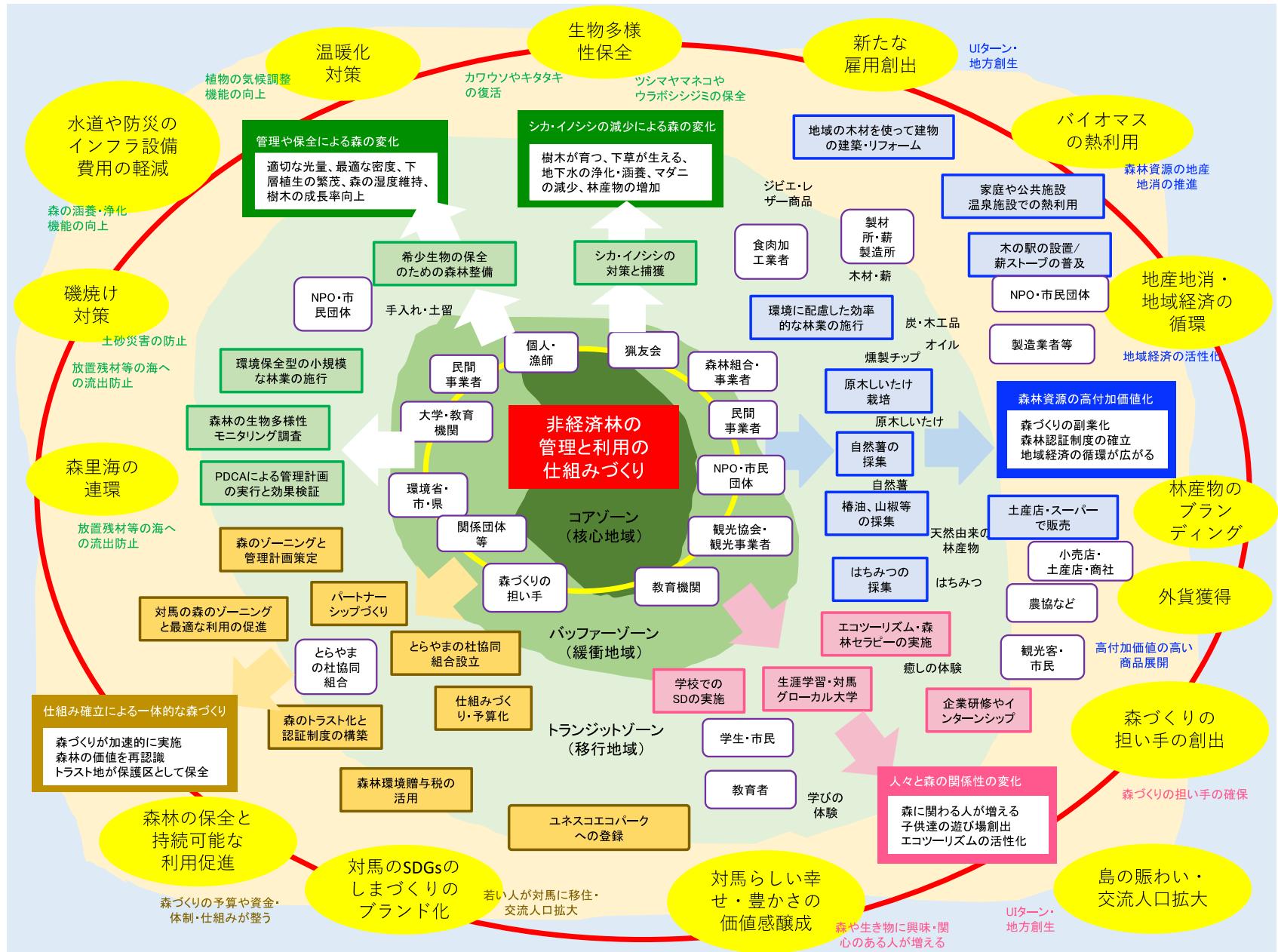
T つなぐ部門 Sales & Coordinate section

- ・ 物販直営店の運営
- ・ 商品の直販・卸売
- ・ コーディネート業務



★オフィシャルウェブサイト mit.or.jp

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

なりわいづくり(果実) 経済的視点

森林資源の持続可能な利用
のための具体的な経済活動
の作り込み

森林資源の高付加
価値化の実践

つながりづくり(枝) 社会的視点

一体的で持続可能な
森づくりを展開するため
のネットワークづくり

関係者との意見交換会の実施

場づくり(土壌・根・幹) 環境的視点

森林の保全と持続可能な利用
のための場づくり

モデル林でのアクションプランの策
定と森林保全活動

ひとづくり(葉っぱ) ESDの視点

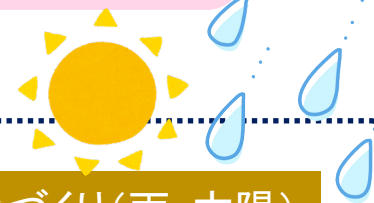
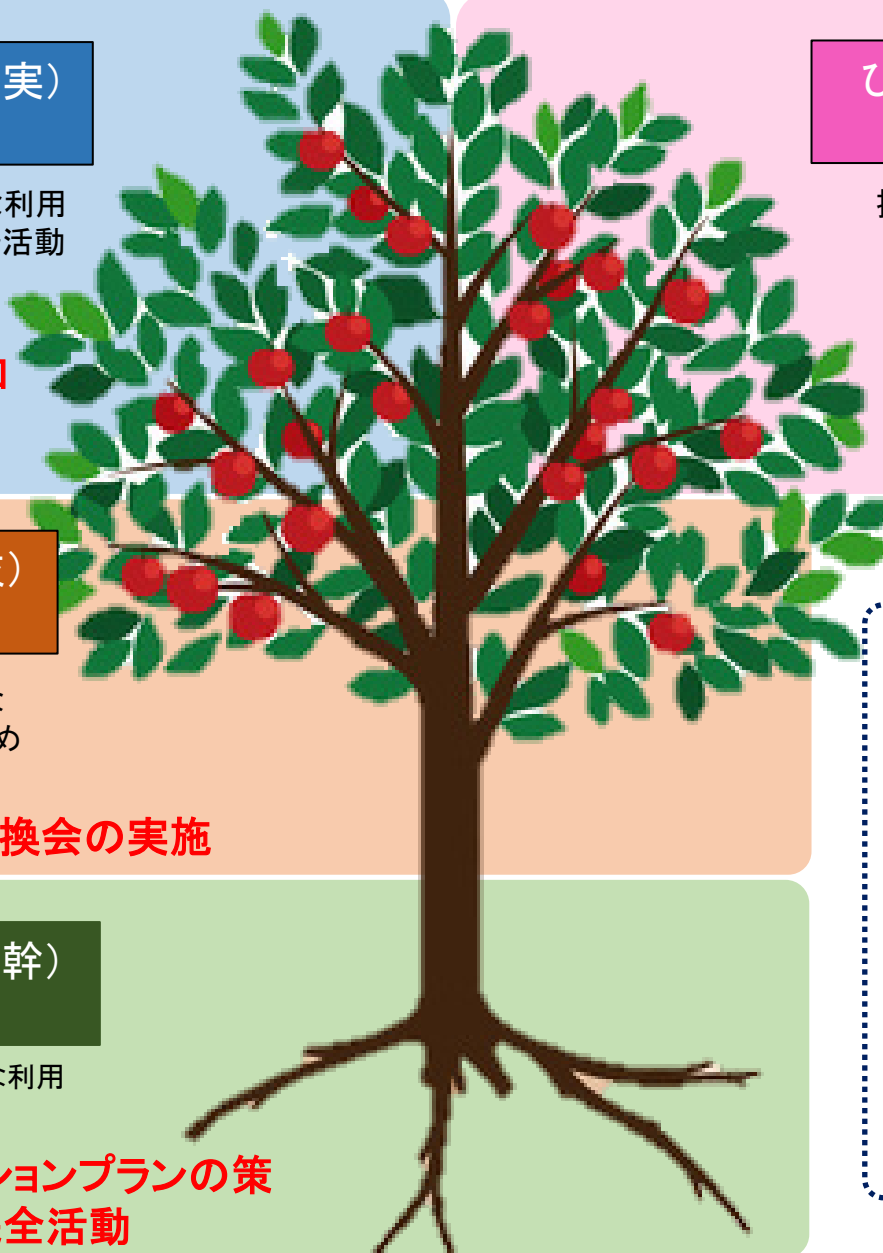
持続可能な森づくりの
担い手の確保と育成

総合学習や研修会
の開催支援

仕組みづくり(雨・太陽) 政策的視点

多様な主体が参画し、森林の保全と
持続可能な利用を推進するための森
づくりを推進する仕組みや
制度の作り込み

- ・ とらやまの杜づくり協同
組合の設立検討
- ・ ユネスコエコパーク登録
に向けた検討

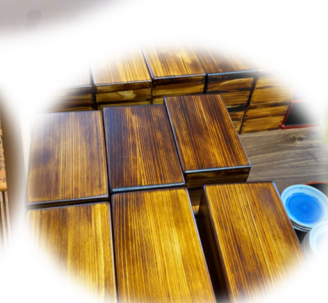


地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

なりわいづくり(果実)

森林資源の高付加価値化の実践

- エッセンシャルオイルの商品展開と販売
- 木工品の商品製造と販売
- 木工品の実店舗での販売
- やまねこ博覧会等への出店
- 森林資源を活用した新商品開発
- 磯焼け対策×森林資源の活用の模索
- 林業施業の跡地におけるゆずの導入に向けた検討



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

ひとづくり(葉っぱ)

総合学習や研修会の開催支援

- 対馬市島おこし協働隊等との協議・現場確認(9/25)
- 林業研修会の企画開催(11/7 & 2/11-14)
- チェーンソー講習会の参加及び呼びかけ(12/23-25)
- 学校での森づくりESDの推進(周年)

鶏知中学校/厳原中学校

佐須奈中学校/比田勝中学校

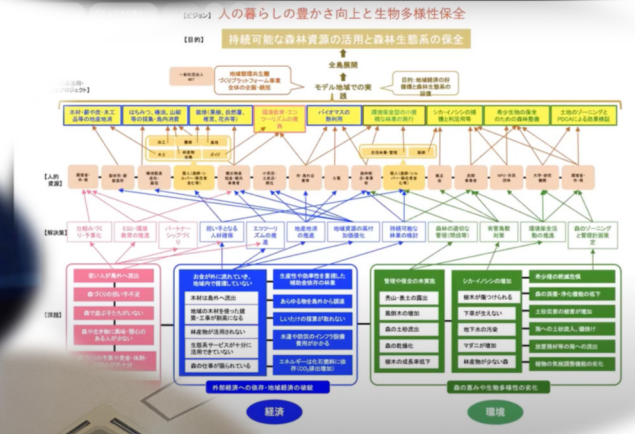


地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

つながりづくり(枝)

関係者との意見交換会の実施

- 北海道視察(7/18-23)
シマフクロウエイド/知床財団/羅臼高校
- 先進地の情報収集
モリ券土佐の森救援隊(8/3)
理想通貨みゃーく宮古島市(8/12)
- 森里海を結ぶフォーラムでの発信(9/3, 10/3)
- ウラボシシジミ・シンポジウムでの発信(9/18)
- 地域意見交換会の実施(10/20)



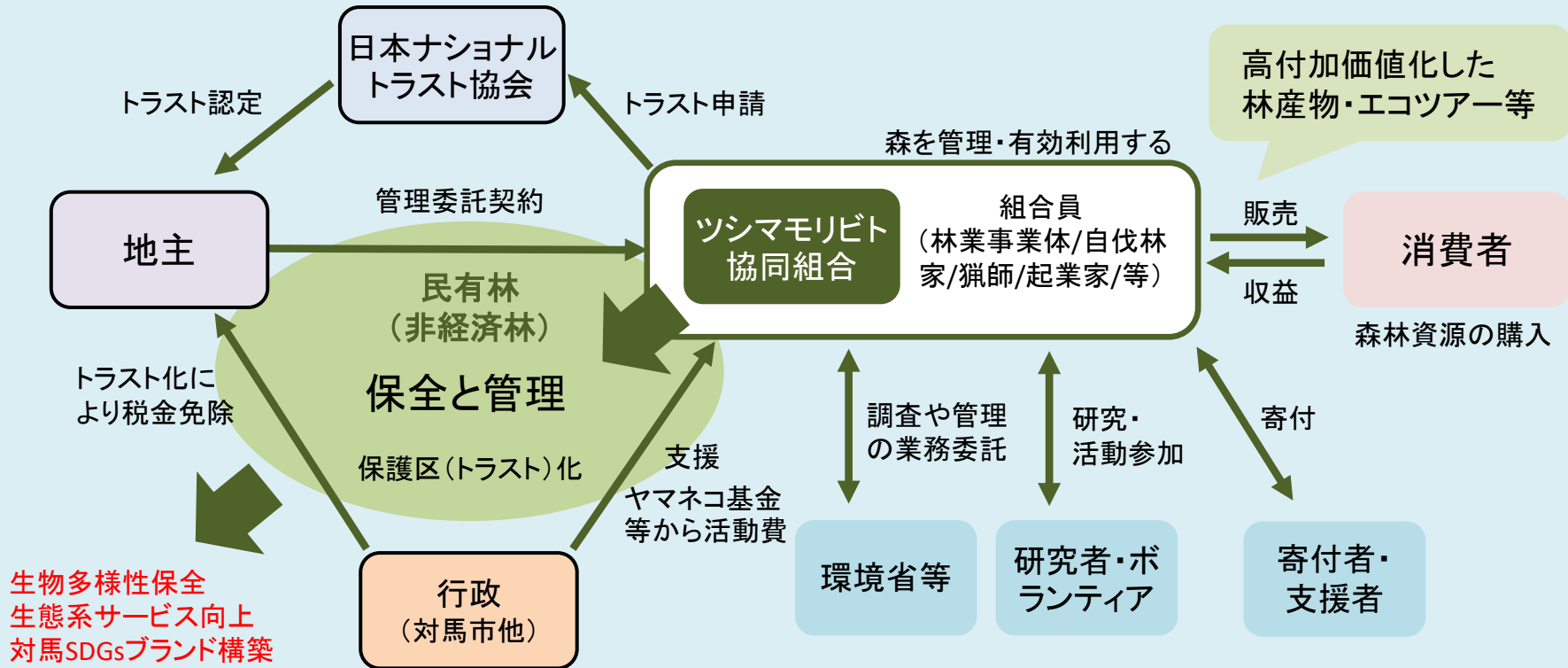
地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

仕組みづくり(雨・太陽)

ツシマモリビト協議会の設立
2022年2月22日

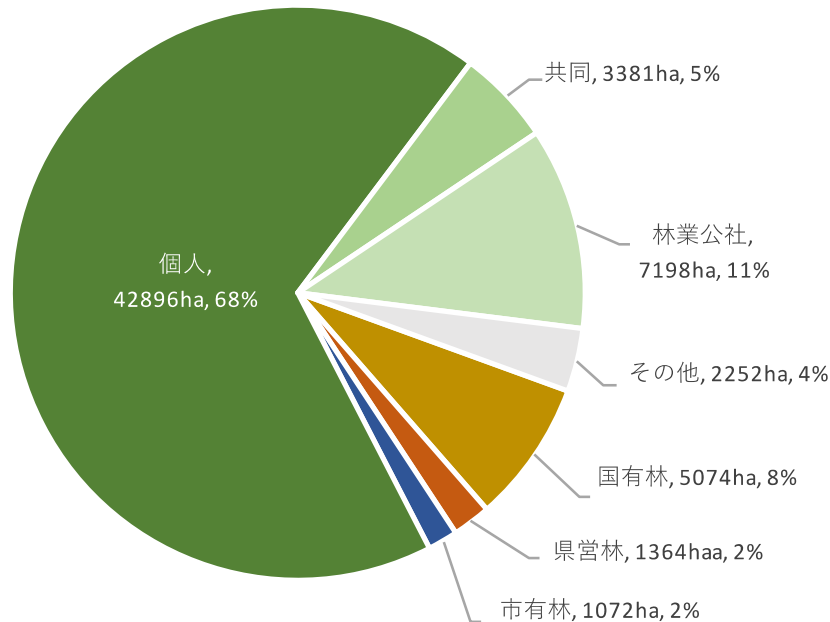
対馬木材産業 × MIT

調整中: 対馬市、日本ナショナルトラスト協会



取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

対馬の所有形態別の森林面積



個人の森が68%あり、
民有林の森林管理が課題

みんなバラバラ

- 個人の地主は森を放棄したい
- 森づくりの担い手は場所がない
- 行政は縦割り、予算がない

対馬の森の今後の動き

■新しい森林管理システムの導入

- 所有者の特定と財産管理の確認作業
- 財産放棄の場合は市有林化
- 市の担当者だけでは対応が難しい
- 森林組合に委託して調査など実施

■民有林や市有林の管理

1. 経済林

森林組合等が針葉樹の伐採

2. 非経済林

多面的なサービス利用の推進

- 調査研究（価値の見える化）
- 教育サービス
- ヤマネコなどの保全（寄付）
- 水源涵養機能・CO₂固定機能
- 各種林産物の活用 など



森林整備の資金確保・雇用創出
保護区の設定などのゾーニング

取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題

非経済林を取り巻く現状と課題解決に向けて

森づくりの担い手・消費者

- 森づくりをなりわいにしたいが、扱える森がない
- 色々な森林資源をビジネスに変えたい
- ツシマヤマネコを保全したい

地主

- 所有している森がお金にならない
- 管理するお金もない
- 森を今後どうしていいかわからない
- 負の遺産になっている

3社をつなぐ組織がない

行政

- 森林保全と持続可能な利用により生態系サービスを高めたい
- 森林資源を活用したなりわいが生まれ、雇用創出してほしい
- 地主が管理放棄した森をなんとかしたいが予算はそれほどない
- 森の公益性の点から行政も対策が求められている

今後の展望

非経済林を中心とした
森林生態系の保全と持続可能な利用

組合員

【森づくりの担い手】
森林資源の保全と利活用

【土地所有者】
非経済林の提供

ツシマモリビト
協同組合による
森づくりの推進

【行政】
非経済林の管理と保全
にかかる資金拠出

【ナショナルトラスト】
非経済林のトラスト登録

トラヤマ森の認定・トラスト化(調査・調整)
トラヤマ森のブランディング
資金獲得と組合員との協同事業の創出 等